

県民音楽のひろば・第42回県民芸術祭参加事業

群馬交響楽団

クラシック・スペシャル

Gunma Symphony Orchestra Classic Special

『運命』と 『ドヴォコン』

2019年

3月24日(日) シルクホール

開演:15:00(14:30開場)  シルクカード
対象事業

全席
指定

3,000円(るうふ会員2,700円)

高校生以下1,000円(るうふ会員900円)

※未就学のお子様は入場できません。



©MasahideSato

指揮：高関 健

プログラム

シューベルト／劇音楽「キプロスの女王ロザムンデ」序曲

ドヴォルザーク／チェロ協奏曲 ロ短調 作品104

ベートーヴェン／交響曲第5番 ハ短調 作品67「運命」



チェロ：北村 陽

お誘いあわせ
得得
キャンペーン

前売りのみ 先着200組様限定

2枚 ご購入の場合1枚……………2,750円
3枚 以上ご購入の場合1枚……………2,500円

※るうふ会員はさらに、会員割引各300円! シルクカードも使えます。
※1回の購入でまとめてご購入の場合に限りません。(追加購入の場合は適用になりません)
※会館窓口でのご購入に限りません。会館以外のプレイガイドでは割引はありません。



※この公演には託児サービスがあります。(締め切り3月15日(金))
■未就学のお子様ひとりにつき300円 ■事前に申込が必要です。

※プログラムは予告なく変更する場合があります。

桐生市市民文化会館

(主催)第42回県民芸術祭運営委員会／群馬県／(公財)群馬県教育文化事業団／
桐生市／桐生市教育委員会／(公財)桐生市スポーツ文化事業団

チケット
専用電話

0277-22-9999

〒376-0024 桐生市織姫町2-5 営業時間 9:00~22:00(火曜休館) <http://www.kiryu-piif.jp/>

オンラインチケットは
コチラ→



群馬交響楽団

クラシック・スペシャル

Gunma Symphony Orchestra Classic Special

コンサートへの誘い!!

今回の「県民音楽のひろば」は、ベートーヴェンの交響曲第5番『運命』とドヴォルザークのチェロ協奏曲（通称ドヴォコン）。マエストロの高関健は、みなさんご存知の通り、長年群響の音楽監督を務め、現在は名誉指揮者。群響の音楽監督時代も含めて桐生での演奏機会は少ない。また、ベートーヴェンの『運命』もオーケストラの楽曲の中で最も有名な曲であるにもかかわらず、当財団が主催する演奏会で演奏されるのは、今回で3回目。この貴重な機会を是非お楽しみに。一方、コンチェルトでは、ソリストに2004年生まれの14歳、北村陽を迎える。2017年「若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」で優勝し注目を浴びている。今最も将来を嘱望されている若手チェリストの今を聴く。



高関 健(指揮)
Ken Takaseki

国内はもちろん海外への客演も多く、2013年2月と2017年4月にはサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会を指揮、聴衆や楽員から大絶賛を受けた。オペラでは新国立劇場公演「夕鶴」、大阪カレジオオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、ピエール・ブーレーズ、ミッシェル・マイスキー、イツァーク・パールマンをはじめとする世界的ソリスト、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じてその演奏を絶賛されるなど、絶

大な信頼を得ている。

京都市響常任首席客演指揮者(2014年4月～)、東京シティ・フィル常任指揮者(2015年4月～)、仙台フィルレジデント・コンダクター(2018年4月～)、静岡響ミュージック・アドバイザー(2018年4月～)。

広島響音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー響常任指揮者、群馬響音楽監督(現在・名誉指揮者)、札幌響正指揮者などを歴任。

東京藝術大学音楽学部指揮科教授 兼 藝大フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。



北村 陽(チェロ)
Yo Kitamura

2004年兵庫県西宮市生まれ。2017年、カザフスタンで行われた第10回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクールで優勝し、注目を浴びる。

佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラに最年少(小2)で入団し、東日本大震災被災地での公演に参加。

9歳でオーケストラと初共演、10歳で初リサイタルを行う。これまでに関西フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、山形交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団と共演。2018年5月にロシアで開催された、チャイコフスキー国際青少年フェスティバルに招待される。2018年秋は、アンドレイ・フェーヘル指揮関西フィルハーモニー管弦楽団、小林研一郎指揮東京フィルハーモニー交響楽団と共演。

テレビ朝日「題名のない音楽会～神童たちの音楽会2017」、BSジャパン「エンター・ザ・ミュージック」、日本テレビ「news every.」等に出演。

第37回草津夏期国際音楽アカデミーの奨学生となる。W・ベッチャー、P・ミュレル、M・マイスキー、M・ブルネロ、K・ロージン、S・コンツ各氏のマスタークラスを受講。山崎伸子、太田真実、故ギア・ケオシヴィリ各氏に師事。

2017年関西元気文化圏賞 ニューパワー賞受賞。

使用楽器は、上野製琴株式会社より貸与されている1668年製「カッシーニ」。



群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2017年度までに延べ634万人を超える児童・生徒が鑑賞した。2014年6月には定期演奏会が500回に達し、2015年11月には創立70周年を迎えた。群馬交響楽団は群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

1966年「朝日・明るい社会賞」、1983年文部大臣「地域文化功労者」団体表彰、1989年 第11回山本有三記念「郷土文化賞」、1994年「日本文化デザイン賞」、1995年「第4回日本生活文化大賞特別賞」、2001年 日本放送協会「関東甲信越 地域放送文化賞」受賞、2017年県民芸術祭40周年記念表彰。



◆託児サービスあります。(未就学のお子様は、ご入場できません) ◆チケット郵送サービスあります。(郵送料360円+郵便振替料金ががかかります。)
※未就学のお子様ひとりにつき300円(保険料を含む) 事前申込要(3月15日(金)申込締切)

〈プレイガイド〉

《桐 生》桐生市市民文化会館0277-22-9999
桐生市中央公民館0277-47-4343
桐生音協0277-53-3133
桐生市民活動推進センター「ゆい」 0277-47-4066

《桐 生》新里公民館0277-74-4151
黒保根公民館0277-96-2501
《みどり》笠懸野文化ホール0277-77-1212

《前 橋》ペイシア文化ホール(群馬県民会館) 027-232-1111
大胡シャンテ027-283-1100
《足 利》足利市市民会館0284-41-2121
足利市民プラザ0284-72-8511

《館 林》館林文化会館0276-74-4111
《太 田》太田市新田文化会館0276-57-2222
駅なか文化館0276-46-4884